

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
立候補予定者：吉村みえこ氏 公開質問状回答

公益社団法人日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会
山形県知事選挙に向けた公開質問状

立候補予定者名：吉村 みえこ

1. 立候補を決意した理由を記載してください(200文字程度)

新型コロナという未曾有の難局の中、県民の命と暮らしを守り、感染拡大防止と経済再生の両立を図って、この難局を乗り越え、ふるさと山形の輝かしい未来をしっかりと次の世代に引き継いでいかなければならないと考えている。また、少子化や人口減少は地方が抱える大きな課題であるとともに、災害の激甚化・頻発化や地球環境問題、さらにはアフターコロナを見据えた新たな発展に向けて、3期12年間の経験や実績、そしてこれまで培ってきたネットワークなどを最大限に活かしながら、初心に立ち返って、県民のために全身全霊で取り組んでいく。

2. 県の課題認識とどう取り組んでいくか記載してください。(200文字程度)

新型コロナの影響により、「新・生活様式」の普及や消費スタイルの変化などの一方で、地域経済は深刻な打撃を受けている。県民の命と暮らしを守るため、今後、新型コロナの感染拡大防止と県内経済再生の両立を図ることが当面の喫緊の課題であり、県民の皆様、事業者の皆様と一緒にこの難局を乗り越えてまいりたい。そして、コロナ後の社会を見据え、これまで培ってきた本県の優位性を活かして、デジタル技術の活用など新しい発想や手法を積極的に取り入れながら、将来にわたって持続的に発展し続ける、さらに輝かしい「新しいやまがた」を創ってまいりたい。

3. 県の経済成長戦略についてどう取り組んでいくのか記載してください(200文字程度)

令和2年8月に宣言した「ゼロカーボンやまがた2050」の目標実現に向けた各種施策を通して、産業界のイノベーションを創出していく。具体的には、やまがた健康住宅など省エネ住宅や電気自動車の普及等による省エネの推進、洋上風力発電など再生可能エネルギー導入促進、やまがた森林ノミクスの推進による森林吸収源対策などを積極的に進めていく。また、スマート農業や産業のデジタル化の推進など、産業分野全般にわたって本県らしい経済戦略を進め、新たな需要を創出することで経済成長に結び付けていく。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会

立候補予定者：吉村みえこ氏 公開質問状回答

4. 少子高齢社会に向けてどう取り組んでいくのか記載してください。(200文程度)

市町村との連携を図り、例えば、2歳児以下の保育料や高校授業料の完全無償化に加え、新婚世帯の家賃や引越し費用、不妊治療費、出産費用等の助成の拡充など、本県独自の対策を段階的に実施し、県内外の方から「山形県で子育てしたい」と思っただけできるよう、全国トップの子育て環境を整備していく。

一方、高齢になっても地域で元気に生活を続けていくため、県民の健康づくりと高齢者の活動の場づくりに積極的に取り組むとともに、介護が必要になっても安心して暮らせるよう、介護基盤の整備を進めていく。介護人材確保のため、ICTを活用した負担軽減や外国人人材の登用等を進めていく。

5. 人口減少についての考え方やどう取り組んでいくのか記載してください。(200文程度)

主に高齢化による人口の自然減少の拡大とともに、若者、特に若年女性の転出超過に歯止めがかからない状況であり、県内定着・回帰を促進していくことが重要である。具体的には、郷土への誇りや愛着を幼少期から醸成し、県内での進学や就職の促進に取り組むとともに、県内企業の企画・研究開発部門など専門的で高度な知識や能力を活かせる就業の場を拡大し、新たな職の創出、女性の賃金向上の取組みを進めていく。さらに、都市部での新型コロナ拡大を契機に、地方への関心が高まっていることから、積極的に移住定住施策を展開する。

6. SDGsの達成に向けて県としてどう取り組んでいくのか記載してください。(200文程度)

本県で脈々と受け継がれてきた地域の文化・伝統をはじめ、「やまがた森林ノミクス」などの施策は、SDGsの理念や目標と軌を一にするものであり、第4次山形県総合発展計画に掲げた各施策を推進することがSDGsの実現に貢献していくものと示している。去る8月に、県は、山形大学及び山形新聞社と連携し、「SDGsの推進に向けた共同宣言」を行い、広く県民の参画を得てオールやまがたでの県民運動を進めていくこととしており、今後ともSDGsの考え方に基づく取組みを積極的に進めていく。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
立候補予定者：吉村みえこ氏 公開質問状回答

7. もっとも取り組みたい施策の分野の優先順位を記載してください。(経済対策、少子化対策など)

※ 下記の施策は、優先順位というものではなく、いずれも重要な柱と考えているもの。

- ① 「子育てするなら山形県」の実現
- ② 「健康長寿日本一」の実現
- ③ 県民幸せデジタル化
- ④ 「一人当たり県民所得」の向上
- ⑤ やまがた強靱化

8. 設問7で回答した内容の具体的な施策を教えてください。(1分野につき200文字程度)

①分野:「子育てするなら山形県」の実現

若者、とりわけ女性の会期・定着に加え、県外からの家族での移住にも力を入れる観点から、本件の子育て環境の優位性をアピールしていくため、市町村との連携を図りながら、①2歳児以下保育料や高校授業料の完全無償化に加え、②新婚世帯の新居の家賃や引越し費用、③不妊治療費、④出産時費用などの助成制度の拡充など、本県独自の対策を段階的に進めていく。山形県ならではの「幸せな育ち、幸せな暮らし」の実現に向けて、全国トップクラスの子育て環境を整備していく。

②分野:「健康長寿日本一」の実現

新型コロナの感染拡大で地域医療・福祉サービスの重要性が増しているとともに、高齢化に伴って後も医療・介護需要の増大が見込まれる。このため、発達障がいや医療的ケア児などへの対応力強化や、県民の健康づくりと疾病予防の取組みの強化、医療提供体制等の充実・確保、また、障がいの者の就労・多様な社会参加の促進や、自殺や虐待・DV・引きこもりなどへの対策強化など、各地域で必要なサービスが提供される持続可能な体制づくりを進め、医療・介護サービスの向上に取り組む。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会

立候補予定者：吉村みえこ氏 公開質問状回答

③分野: 県民幸せデジタル化

県民の幸せ実現のため、暮らしや仕事など各分野でのデジタル技術の活用を積極的に進め、子どもから長寿の方まで全ての県民がデジタル化の恩恵を受けられる社会づくりを進めていく。また、中小企業や農林水産業、介護・医療・福祉分野等における新規ビジネスの創出や販路開拓等を支援していくなど、産業分野でのデジタル化をさらに加速させていく。あわせて、県民の利便性を高めるため、県・市町村が連携して、行政のデジタル化を推進するとともに、デジタル分野の専門人材の養成と県内での活躍促進にも取り組む。

④分野: 「一人当たり県民所得」の向上

H29年に過去最高となった「一人当たり県民所得」の更なる上昇を目指し、雇用や所得を生み出す産業の振興を図る。また、スマート農業技術の普及拡大、東北農林専門職大学（仮称）の設置、農林水産物のブランド力強化とオンライン商談会開催等による販路開拓の加速などに力を入れる。加えて、県内企業でのIoT・AI・ロボットなどの導入・活用や世界最先端技術を核とした産業集積の促進等による産業イノベーションの創出、地域産業のデジタル化、スタートアップの促進などによって新たな雇用の創出を目指す。

⑤分野: やまがた強靱化

令和2年7月豪雨をはじめ、災害が頻発、激甚化していることから、河川改修等の治水対策や、災害ボランティアによる被災者支援活動の促進など、ソフト・ハード両面から防災・減災対策を一層強化する。また、道路・鉄道・空港・港湾等の各種インフラを計画的に整備するとともに、地域公共交通ネットワークの充実を進めるほか、地域特性を活かした多様な再生可能エネルギーの導入拡大を図り、「ゼロカーボンやまがた2050」宣言に基づく取組みなども積極的に進めていく。